

青森県内の生協の動きと取組み状況(2011年3月16日までの聞き取り分)

3月11日 M9という未曾有の東北関東大震災から6日間の県内の生協の動きを分かる範囲でお届けします。

●青森県生協連⇒ 役割:県連加盟団体への情報提供・県から要請される救援ボランティアの窓口

全国から沢山のご心配や激励をいただきましたが、通信手段などが思わしくなく、お礼も申し上げられませんでした。ここにお礼申し上げます。ありがとうございます。

地震そのものの被害は少なかったものの、ガソリンや商品の不足により、十分な活動が阻害されている中で、県内の各生協が奮闘している一端を紹介します。 青森県生協連役職員一同

3月12日、青森県庁から要請にもとづき、コープあおもり・るいけ店から八戸市へ物資(食品、菓子、飲料、雑貨等)トラック4台分を提供した。

3月14日、青森県庁からの要請で、青森県庁生協八戸食堂から八戸市へ「食事50食・3日分」を提供した。

3月16日、県災害本部の依頼で、17日「豆腐、卵、ヨーグルト等」をコープあおもりるいけ店より青森労災病院へ配送

青森県庁消費生協・青森県民生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。予定していたチラシ商品や定番品の不足を組合員に告知している。

商品の入荷が厳しくなっている。灯油定期配送は継続しているが給油量は制限している。

店舗は、閉店時間を変更(11店舗中、9店舗が夜9時までの営業、2店舗が夜8時までの営業。)

コープネットスーパーは欠品商品がある状態のまま配送をさせて頂く旨を告知している。

また、お買物バスは運休している。

県庁県民生協の役職員一同は、「組合員が必要とする食料、日用品の安定的な供給と共済給付活動の徹底」が自分たちの使命と心に言い聞かせ、日夜業務にあたっている(嶋田理事談)

コープあおもり

人的被害はなし。各店舗や共同購入支部も大きな被害はなし。八戸市の職員や組合員には被災者がいる。13日には停電もほぼ回復したが、店舗は節電のため早めに閉店。共同購入は、3月21日より独自調達できる地元の商品数品目を配達予定。業務車両の燃料が不足。青森県の要請で12日にトラック4台分の支援物資を八戸市に提供。日本生協連の支援物資も八戸市、十和田市、おいらせ町に届けた。共同購入は、14日からの配達はとりやめ、3月4週や5週も県内で調達できる限定品目で受注対応する。14日より職員が手分けして共同購入利用者へ訪問活動及び電話。(約数万件)。

灯油は地域により異なるが、在庫がなくなり次第配達を休止する。(14日か15日でタンクの底が着く見込み)。灯油の仕入れや配達ローリーの燃料確保に苦慮している。

共済は、16日現在約400名に電話掛け、八戸の組合員さん19名が災害申請あり。

3月17日より店舗や事業所で「東北・関東大震災募金」を開始

青森保健生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。地震後一時的には混乱しましたが、組合員の協力と職員の奮闘で大きなトラブルなし。現在も物資不足や洗濯事業者への発注制限、通信障害など多数あるが、診療・介護サービス提供の体制を維持している。ガソリン等のエネルギー確保、食材確保に奔走。診療・介護事業の変更など厳しい状況が続いている。3月16日、被災地への人的派遣(医師2名、看護師1名、事務1名、理学療法士1名)と物的支援(医療材料、薬品、食糧、毛布、キャンプ用品)実施。

津軽保健生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。停電時は、自家発電で対応、入院患者の給食のための食材、薬剤が足りなくなっているが、何とか診療・介護サービス提供の体制を維持している。

3月15日、宮城県塩釜市の坂総合病院へ医師2人、看護師2人を含む6人を派遣した。16日から今週末ぐらいまで現地で医療活動に当たる予定。

八戸医療生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。今週は組合員にお見舞い電話活動を職員全員で行う予定。

八戸市職生協

市役所本部、市民病院の建物被害なし。職員は無事。電気、水道、プロパンガスは大丈夫。都市ガスは現在は使える。生協売店に客が殺到、店内は空っぽに。商品は入荷せず、業者も配達できない状況が続いている。普段米を買わない組合員が米を買いに来るなど混乱している。市役所本部の食堂は火曜日から営業開始、メニューを絞り込んで営業しているが、食材調達が厳しくなっている。

震災当初、市役所本部からの炊き出しの要請があり、生協食堂から市役所の対策本部へおにぎりと味噌汁を提供。カップめん等も市役所へ提供している。

十和田市職生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。発生後、まとめ買いなどが目立った。商品が日本生協連(東北支所)や地元業者から入荷せず困っている。商品の展示量は、通常の4分の1程度で、日に日に在庫がなくなっている。

生協とわだ

人的物的(建物・設備)被害はなし。商品に被害が少々発生した。配達商品は、在庫しているものは量を制限して配達している。地元からの商品は少し入荷しており、なんとかやり繰りしている。来週以降は、卵、牛乳などの入荷が減ることが予想されるので配達数を調整する。ガソリン・軽油の調達では県内業者から物があっても届かない例もある。

弘南バス生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。商品は地元業者から調達。何とやり繰りしている。エネルギー(ガソリン・軽油)の確保が難しくなっている。

弘前大学生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。3月14日(月)より、すべての店舗で平常通り営業。

※3月の卒業式中止。

新生サポートセンターは震災以来ずっと営業。食堂レストランは今ある食材、入手できる食材でできる限りのメニューを提供している。新生活用品の配送、新生・卒業生の引越しが厳しくなっている。

生活クラブ生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。なんとか運営を維持している。生活クラブ連合の埼玉のセンターからの商品配送(深夜便)と県内からの調達で注文量の80%~90%を配達している。欠品は今のところ多くない。配達のための燃料入手に苦慮している。給油制限の中、職員がこまめに給油に動きなんとか配達体制を維持している現状。

青森県労済生協

人的物的(建物・設備)被害はなし。**火災共済の給付活動と組合員の安否確認に動き始めている。**
これまで100件程度の災害申請があり、燃料をやり繰りしながらその対応にうごいている。

消費者信用生協

釜石センターが津波被害。14日より八戸センター業務再開。

震災にあわれたために返済が困難となった方への返済猶予等の相談などを開始しました。

3月29日開催予定の臨時総代会の延期を決定。

※一部十分に聞き取れず正確さを欠く記述があるかもしれません。気がつかれたらご連絡ください。

●問い合わせ先 青森県生協連 事務局 電話：017-766-1521